

SAFE365で地震の揺れを吸収する家 クワイエ

QUIE

耐震+制震の家

QUIE

クワイエ

地震の揺れを吸収する家

地震の揺れに耐える「耐震性能」と、揺れを抑えて住宅へのダメージを軽減する「制震性能」を兼ね備えた建築住宅ブランド「QUIE」。ふたつの備えで、お客様の家を守ります。



制震装置 (SAFE365)

当社開発の粘弾性ダンパーによる制震装置が、地震による建物の揺れを吸収し、建物全体を守ります。

地震による建物の揺れを吸収
SAFE365を設置すると、地震の際の建物変形が軽減されます。当社試験棟による耐震実験(地震動波形BCJ-L2 最大200%まで)の結果、建物の振幅や変形を50%程度軽減できることが実証済み。また、地震の揺れが大きいほどその効果は高まります。
※BCJ-L2とは建築基準法で定められた中地震と大地震に相当する日本建築センター模擬波

繰り返す地震に安定した効果を発揮
本震のあとにも余震と、地震の揺れは繰り返します。建物の構造は揺れることで損傷し、一度損傷するとその強度は大きく低下してしまいます。SAFE365を設置することにより、揺れによる建物の損傷が抑えられます。また、粘弾性のダンパーの効果により、繰り返す地震の揺れに安定した効果を発揮します。

メンテナンスフリー
基本的に、保守やメンテナンスを必要としない粘弾性構造となりますので、建築時にSAFE365を設置することで、繰り返す耐震性能を確保します。また粘弾性体は、自己修復性があり、変形後すみやかに元に戻るためメンテナンスが不要です。

耐力外壁面材

アーネストワンの分譲住宅は、建築基準法で定められた壁量の1.5倍に達する耐震性を持っています。柱だけでなく、壁でも建物を支える強固な構造です。地盤も、土台も、基本構造も、そして壁も、見えない所までが強い家です。



施工例



施工例

地盤調査済・地盤10年保証付

アーネストワンでは建築前に地盤調査を外部機関に委託して行い、地盤が弱い場合には地盤補強工事を行っています。地盤保証付家となっておりますので安心してお住まい頂けます。



ベタ基礎

より丈夫な基礎を築くために、上部構造と等しい床面積を持つ基礎スラブによって、建物の荷重を地盤に伝える「ベタ基礎工法」を採用しています。一般的な建売物件では基礎スラブの幅が120mm程度が多い中、当社では内周、外周とも150mmの幅を取っています

アーネストワンの家は、質と実。

- △品質へのこだわり — 安心して暮らし続けるための住宅性能
 - △実用的な住まい — 本当の暮らしやすさを追求した家
- 家族が安心して暮らせる安全で快適なマイホームを。
良質な住まいを手に届く価格で提供します。

住宅性能表示制度 第三者機関の評価員が性能をチェックするので安心

最高等級取得(3項目)

耐震等級 3取得	劣化対策等級 3取得	維持管理対策等級 3取得
--------------------	----------------------	------------------------

地震保険の優遇が受けられます。
保険料が最大**50%**割引



指定金物(耐震金具)

木造住宅の接合部の強度を高めるため、要所に性能認定金物を使用し、耐震性を高める工夫を行っております。耐震接合金物を使用すると、建物にかかる応力を有効に伝達するので、安定した強固な構造体となり、安心して暮らせる住まいが実現できます。また、構造用合板を構造材に直接留め付ける剛床工法は、たわみを減少させ、床鳴り防止と耐震性をアップします。

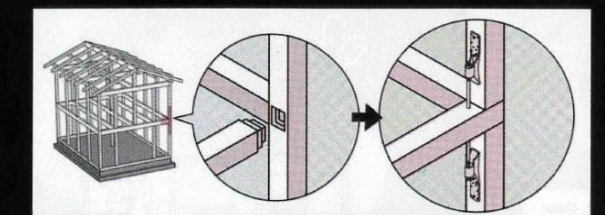
木を傷めない、耐震性を高める金物を開発。

建物を補強し耐震性を高めるアンカーボルトなどの建築金物に、構造体を傷めないような様々な工夫を凝らしています。

<p>Arnestホールダウン1 ビスの位置と数で強度を調整</p>	<p>デフコーナー 筋かいとリブ付けで強度と施工性を両立</p>
<p>Arnestメルト羽子板ボルト ナット止めの形状を楕円にして作業性向上</p>	<p>スリーク座付きナット 構造体の座彫りを最低限にする工夫</p>

構造体を傷めない工法

施工の安全性と構造体を傷めないために「通し柱」を見直し。



構造材を大きく傷つける「通し柱」を見直し、シンプルに接合金物で補強して強度を高める工法を採用しました。
柱はJIS規格の集成材を工場でプレカットしていますので精度が高く、現場での作業も簡単に品質が安定しています。
様々な研究と実験を行い、より科学的で合理的な新工法を採用し家づくりの革新に取り組み続けています



施工例

耐震実証実験検証済!!

クレイドルガーデン「耐震実験」
地震に強いクレイドルガーデン、安心してお住まいいただけます。
独立行政法人土木研究所にて大型3次元振動実験施設を用い、クレイドルガーデン標準建築仕様住宅の耐震実験を行いました。阪神・淡路大震災に相当する加振(震度7相当)を加え、建物の損傷度合いを検証し、耐震性能が十分に存在することを確認いたしました。

スマートフォンサイトはこちら

詳しくは動画も公開中!! 下記URLへアクセス
<http://www.arnest1.co.jp/p/introduction.html>